



福島成蹊
高等学校

特進コースREPORT

2019年5月10日
第1号
福島成蹊高校広報室

2019 特進TEAM成蹊スタート!

【春季学習合宿】 4月17日(水)~20日(土) 那須甲子青少年自然の家

入学式の翌週、春季学習合宿が行われました。この合宿は新入生にとっては特進コースにはやく慣れるために行う行事ですが、先輩たち、特に3年生にとってはよいよ受験の年の始まりを告げる真剣勝負の場でもあります。

高校3年間は実質「1000日」。その限られた時間をどれだけ充実させるかが成功への近道です。そのため、合宿では、生活の姿勢や時間の使い方、自習のやり方などを、先輩は後輩へと、ときには説明し、ときには行動で教えます。

合宿の1日は、朝のテストからスタートし、午前午後は授業、夜は集会と自学自習で終わります。1日の学習時間は



12時間余りに及びます。これをひとりですら、たぶん、つらくて止めてしまうでしょう。しかし、みんなと一緒にだとなぜかすなりできてしまいます。人間は「社会的環境」に左右されるからです。特進コースでは、一人ひとりが環境となり、お互いを高めあい、力を伸ばします。それが「受験は団体戦」という考えにつながっています。

【コースオリエンテーション】 4月13日(土)

入学後、最初の土曜日に2、3年生による、1年生のためのコースオリエンテーションが行われました。

昨年度の智育活動「行事企画運営チーム」が作成した特進コースの紹介動画を見た後、先輩の案内で校内の教室や施設を見学しました。教室にもどってからは新入生の質問に先輩たちが答えました。



1年 小野地央さん
(桑折町立醸芳中出身)



目標の国公立大学進学をかなえるには特進コースが一番だと思いました。

授業は分かりやすく、楽しくて充実しています。

合宿は勉強量が多いたへんでしたが、それ以上に自分の苦手が分かって、よかったです。先輩方の集中する姿勢はとてまかっこよく見えました。

3年 渡邊結美さん
(福島市立福島第三中出身)



合宿では先輩方から教わった、生活の仕方や時間の使い方を後輩に伝えました。

特進コースは何よりも先生方が真剣に向き合ってください、このコースで良かったと思っています。先輩・後輩の仲も良いです。

受験が迫り焦る気持ちもありますが、とても良い学習環境の中、合格へ向け毎日を大切に過ごしたいです。

大学受験ミニコラム 「国公立大学」とは

特進コースが進学目標とする「国公立大学」は、正確には「国公立大学法人大学」と言い、現在、東北地方には18校あります。

現在は法人となりましたが、もともと国や県などが作った大学なので、施設設備が充実しているのが特徴です。

学費も私立大学に比べて安く、授業料はどの学部でも同じ額になります。

初年度納付金 (平均値 千円以下四捨五入)

	私立大学	国公立大学
文・教育学部	119万円	82万円
理・工学部	147万円	
医学部	504万円	



先生インタビュー

第1回はコース部長で数学科のしなのたかし信野高志先生です。

年齢は：34歳です。

出身地は：生まれは福島ですが、宮城県で育ちました。

大学は：東北大学工学部です。

誰かに似ていますね：動物ではビーバーと言われます。

特技は：皆さんが想像するよりは楽しい授業をします。

一言どうぞ：特進コースは勉強も行事も「全力」です！

～生徒から見た信野先生～

「授業は丁寧で分かりやすく、脱線が多い」「神出鬼没」

「最初の授業で年齢クイズを出し、答えによっては3年間

いじられる」「特進でいちばん優しい先生(自称)」



広報室より

特別進学コースは「勉強ばかりでツライ」という印象が強いように思います。確かに特進コースの中心は勉強です。勉強なしに未来は開けません。しかし「ばかり」「ツライ」はイメージにすぎないのではないのでしょうか？この通信は特進コースのありのままを伝えることで皆さんの進路選択に役立つことを目的に発行します。